

新医学系指针对応「情報公開文書」改訂フォーム

研究協力のお願ひ

昭和大学病院では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

化学療法施行を実施した転移性尿路上皮癌患者における3D-CTを用いたPsoas volume indexの予後因子としての有用性の検討

1. 研究の対象および研究対象期間

昭和大学病院泌尿器科において転移性尿路上皮癌（腎盂癌、尿管癌、膀胱癌）に対して化学療法を施行した患者さん

研究対象期間：2010年1月1日から2020年8月1日まで

2. 研究目的・方法

サルコペニアは高齢期における骨格筋量の減少と、筋力もしくは身体機能の低下として定義されており近年、様々な悪性腫瘍でサルコペニアの有無が術後の短期成績や長期予後を悪化させるという報告があります。サルコペニアの指標となる骨格筋量の低下は今までその多くが大腰筋の任意の横断面の面積を用いていましたが、今回我々は大腰筋の面積より体積の方がより正確に筋肉量を示すことになると考え、3D-CTを用いた大腰筋体積を身長²で割ったPsoas volume indexを用いて、化学療法施行を実施した転移性尿路上皮癌患者において予後因子としての有用性について診療記録を用いて、統計学的手法を活用して検討することを目的としています。

研究期間：「医学研究科 人を対象とする研究等に関する倫理委員会」承認後、昭和大学病院長の研究実施許可を得てから2020年12月31日まで

3. 研究に用いる試料・情報の種類

2010年1月1日から2020年8月1日までに当院泌尿器科において転移性尿路上皮癌（腎盂癌、尿管癌、膀胱癌）に対して化学療法を施行した患者診療録の中から年齢、性別、PS (ECOG)、身長、体重、身体所見、病期、腫瘍組織型、がん薬物療法治療歴、胸部単純X線写真、CT検査、転移臓器の個数、化学療法後の転帰、また臨床検査項目として血液検査：白血球数、白血球分画、赤血球数、血色素、血小板数、総蛋白、Alb、T-bil、D-bil、AST (GOT)、ALT (GPT)、LDH、ALP、 γ -GTP、BUN、Cr、Na、K、CRPなどを調べる予定である。

4. お問い合わせ先

本研究に関する質問や確認のご依頼は、下記へご連絡下さい。

また本研究の対象となる方またはその代理人より、中止のお申し出があった場合は、適切な措置を行いますので、その場合も下記へのご連絡をお願いいたします。

・担当者：鶴木 勉（昭和大学医学部泌尿器科学講座） TEL 03-3784-8000 FAX 03-3784-1400

受付時間：平日9時～17時

・照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先

同上

・研究責任者：小川良雄